

特別企画：鹿児島県内企業における「老舗企業」分析調査（2023 年）

業歴 100 年以上の老舗企業は 309 社 老舗企業の出現率は 1.6%

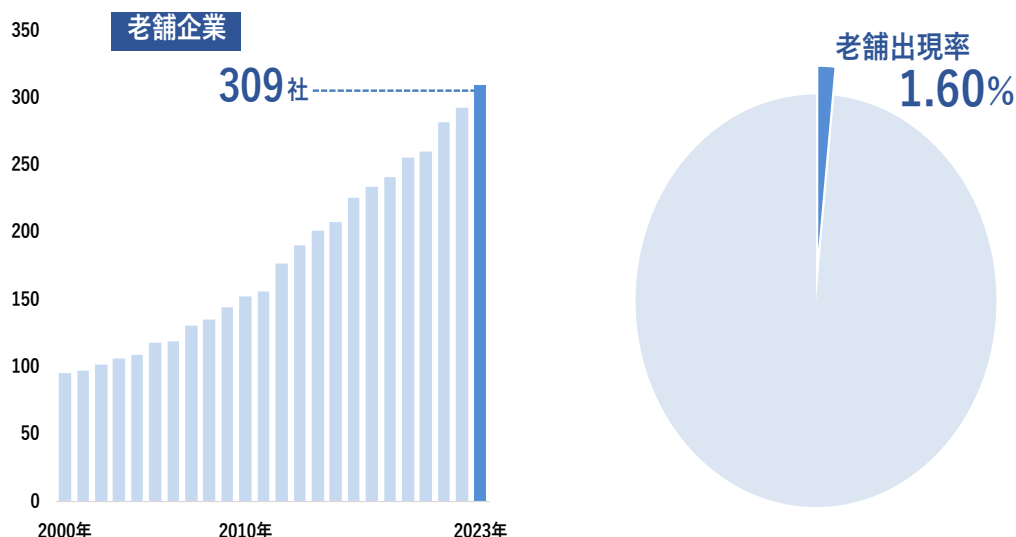
～ 業種別トップは蒸留酒・混成酒製造業 ～

海外機関の調査によると、世界で創業・設立から 100 年以上経過した企業の数 は 2022 年時点で約 7 万 5000 社とされており、そのなかで日本企業が占める割合は大きく、群を抜いた「老舗大国」といわれる。2023 年 9 月 1 日で 100 年の節目となった関東大震災をはじめとした数多くの自然災害や、第二次世界大戦などの戦禍を乗り越え息長く事業を続けていくことは容易ではない。

帝国データバンクが把握している鹿児島県内で業歴 100 年を超える老舗企業*は、2023 年 9 月時点で 309 社を数え、全体に占める老舗企業の割合を指す「老舗出現率」は 1.6%と全国で 44 位となった。

なお、全国では 2023 年 9 月時点で 4 万 3631 社を数え、「老舗出現率」は 2.65%となった。毎年およそ 2000 社が業歴 100 周年を迎えるなか、昨年初めて 4 万社を突破し今後もこれまでと同様の傾向で増加すると見込まれる。

老舗企業数・出現率（2023 年 9 月時点）



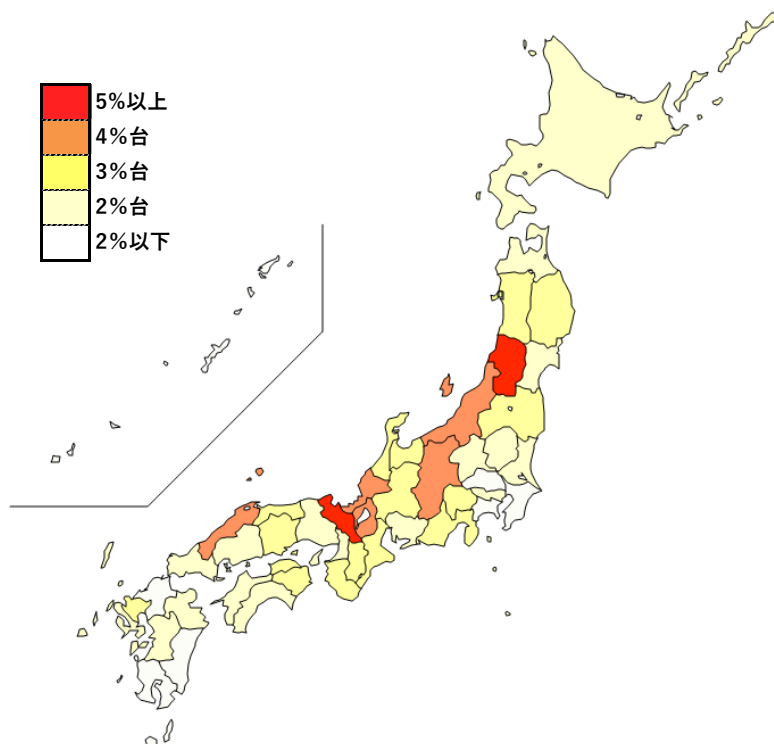
*帝国データバンクでは、企業概要ファイル「COSMOS2」（2023 年 9 月時点、約 147 万社収録）に加え、独自で収集し営業の実体を確認できた企業を元に、創業・設立から 100 年を超えている企業を「老舗企業」と定義し、分析を行った

1. 都道府県別、老舗出現率は京都府が 5.26%でトップ 鹿児島県は 1.6%に留まる

老舗出現率を都道府県別で見ると、京都府（5.26%）がトップとなった。古くから都があり、中心地として栄えたことや、第二次世界大戦中の被害が比較的小さかったことなどが要因としてあげられる。次いで、山形県が 5.18%で続き、京都府とともに 5%（前年 4.98%）を上回った。以下、新潟県（4.94%）や福井県（4.64%）、滋賀県（4.46%）と続き、日本海側の地域で老舗出現率が高い傾向が見られる。これらの地域では、江戸時代中期から明治時代にかけて海運の要として北海道から大阪を結んでいた「北前船」の寄港地が多いことから、古くから商業の拠点となっていた歴史的背景によるものと考えられる。

一方で、鹿児島県は 1.6%と全国で 44 位となった。鹿児島県は温暖な気候やシラス台地を活かした農畜産が盛んであり、個人単位で農畜産業を営む傾向が強かった歴史的背景などが影響し、このような結果につながったと考えられる。

老舗出現率 都道府県別



順位	地域	老舗企業率
1	京都府	5.26%
2	山形県	5.18%
3	新潟県	4.94%
4	福井県	4.64%
5	滋賀県	4.46%
⋮		
43	福岡県	1.73%
44	鹿児島県	1.60%
45	宮崎県	1.51%
46	神奈川県	1.48%
47	沖縄県	0.16%

2. 鹿児島県内 TOP10 には、陶器製造業や酒造業などが並ぶ

業歴 100 年を超える老舗企業の中では、（有）沈壽官窯、（有）荒木陶窯の 2 社が慶長 3 年（1598 年）創業で業歴 425 年と最も古く、（株）小田屋が寛永 2 年（1625 年）創業で業歴 398 年、若松酒造（株）が享保 4 年（1719 年）創業で業歴 304 年となっており、鹿児島県の産業を古くから支えてきた、陶磁器製造や芋焼酎に代表される酒造業などが TOP10 にランクインしている。

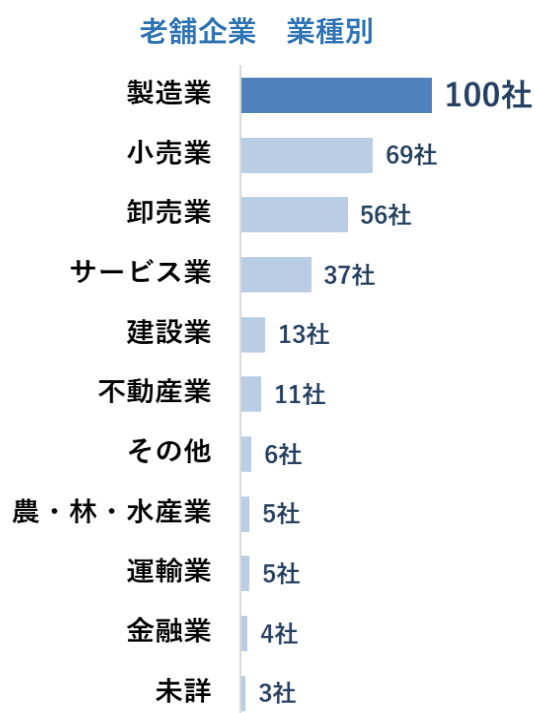
鹿児島県内TOP10

TDB企業コード	商号	創業年	周年	所在地
890234041	（有）沈壽官窯	1598	425	鹿児島県日置市
968149028	（有）荒木陶窯	1598	425	鹿児島県日置市
890180351	（株）小田屋	1625	398	鹿児島県南さつま市
890144721	若松酒造（株）	1719	304	鹿児島県いちき串木野市
890562883	（有）重久盛一酢醸造場	1805	218	鹿児島県霧島市
890035833	坂元醸造（株）	1805	218	鹿児島県鹿児島市
890071901	（株）ひさご屋百貨店	1833	190	鹿児島県始良市
440055917	薩摩金山蔵（株）	1841	182	鹿児島県いちき串木野市
890146968	（株）ハルタ	1849	174	鹿児島県鹿児島市
557018519	（株）明石屋菓子店	1854	169	鹿児島県鹿児島市

鹿児島における老舗企業を業種別でみると、陶磁器製造や酒造・食酢製造などを含む「製造業」が 100 社で最多となっており、「小売業」が 69 社、「卸売業」が 56 社と続く結果となっている。

なお、全国では、「貸事務所」が 1401 社で最多となった。15 年前から、およそ 1000 社近く増加している。

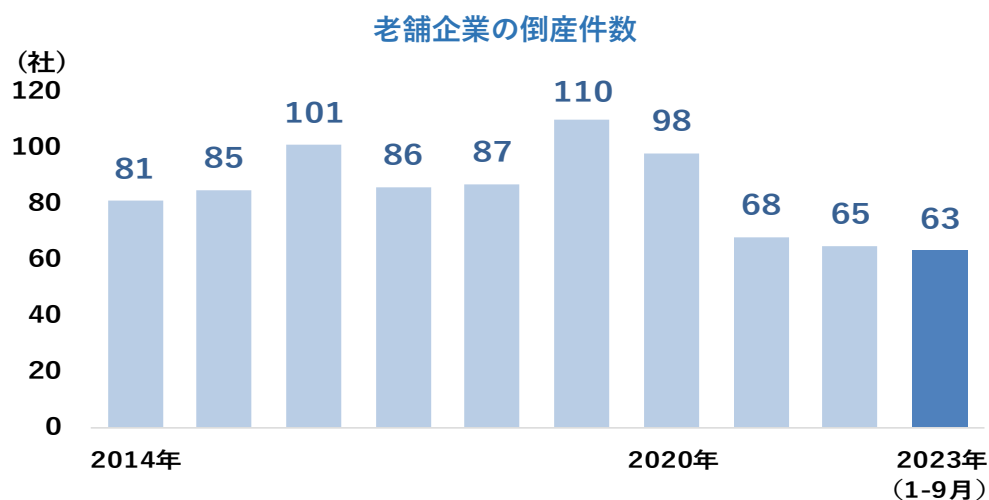
次いで、規制の影響で新規参入が難しく約 8 割を老舗企業が占めている「清酒製造」が 936 社で続いた。また、日本特有の温泉旅館が多く含まれている「旅館」は 783 社だった。



まとめ：老舗の安定感に変化の兆し、倒産件数は増加傾向

創業・設立から 100 年を上回る鹿児島県の老舗企業数は、2023 年 9 月時点で 309 社となった。全国で毎年約 2000 社前後が老舗企業の仲間入りを果たしており、今後も同様の傾向で推移するものと見込まれる。数々の戦禍や災害などから老舗の「のれん」を守り抜くことは決して容易ではなく、事業継続の要諦が凝縮されている教科書的存在として取り上げられる事例も多々見られる。老舗企業の約半数は売上高 1 億円未満の小規模事業者であるなかで、たとえ小さくとも息を絶やすことなく長い業歴に達したケースも多い。

一方で、老舗企業の倒産件数は 9 月時点で 3 年ぶりに増加に転じ、既に昨年の累計件数 (65 件) に迫る水準となっている。後継者難やコロナ禍での業績悪化による資金繰りのひっ迫、コンプライアンス違反などによって対外的な信用を失い倒産に追い込まれるケースも散見されており、老舗の看板を有していても事業を畳む展開が生じている。老舗企業には脈々と培われてきたブランド力があるなかでも、時代の変化への対応や有能な後継者の育成も事業継続の必須要素といえるだろう。



【内容に関する問い合わせ先】

株式会社帝国データバンク 鹿児島支店 担当：片平 寿久
T E L : 099-223-8208 F A X : 099-222-3106

当レポートの著作権は株式会社帝国データバンクに帰属します。
当レポートはプレスリリース用資料として作成しております。著作権法の範囲内でご利用いただき、私的利用を超えた複製および転載を固く禁じます。